

## 教員の取得学位及び主な著書・論文等

- ◆職 位：准教授
- ◆氏 名：山本 弘江
- ◆取得学位：修士(看護学)
- ◆主な著書・論文等

著書・論文等の名称	全著者名	掲載誌名	出版年月(西暦)	巻	号	頁	授業内容に反映している科目名
看護診断のための気づきとアセスメント 母性看護	茅島江子, 村井文江, 細坂泰子編集 山本弘江 (第2部執筆)	中央法規	2022年2月			155-181	母性看護学 I・II
新体系看護学全書 母性看護学2 マタニティサイクルにおける母子の健康と看護	渡邊浩子, 板倉敦夫, 松崎政代編集 山本弘江 (第1章VIII執筆)	メヂカルフレンド社	2022年10月			59-69	母性看護学 I・II
詳解子どもの思春期の精神医学 変貌する思春期の親子関係-変わったのは親か子か	上別府圭子, 山本弘江	金剛出版	2008年			37-43	家族看護学
出生前診断における意思決定過程に関する文献 検討	細田空見, 小島徳子, 山本弘江	愛知母性衛生学会誌	2024年3月		41	18-30	母性看護学 I・II
女子看護学生の生理に対するイメージと話しやすさ	佐橋紀香, 小島徳子, 山本弘江	愛知母性衛生学会誌	2024年3月		41	31-38	母性看護学 I・II
EPDS 得点に違和感を覚える母親の特徴 ～助産師の語りから～	石井捺伎, 小島徳子, 山本弘江	愛知母性衛生学会誌	2024年3月		41	39-47	母性看護学 I・II
COVID-19 パンデミックが当院で出産した母親の 産後1か月時メンタルヘルスに及ぼす影響	鴨下香織, 小島徳子, 田中教代, 山本弘江	愛知母性衛生学会誌	2022年12月		40	49-56	母性看護学 I・II
産後の母親が訴える「眠れない」という体験 -初産婦の思いに焦点をあてて-	土川沙穂, 山本弘江	母性衛生	2022年1月	62	4	619-626	母性看護学 I・II
看護学生を対象とした月経時の薬剤使用に関する 実態と意識	辻 桃花, 小島徳子, 山本弘江	愛知母性衛生学会誌	2021年12月	39		29-35	母性看護学 I・II
EPDS-P 日本語版を用いたパートナーによる産後 うつモニタリングの可能性	山本弘江, 池田真理	日本看護科学会誌	2021年	41		106-113	母性看護学 I・II 家族看護学
周産期メンタルヘルスと夫の体験	山本弘江	心と社会	2019年3月	176		127-131	家族看護学

看護学生の性教育に関する認識	青山桜子, <u>山本弘江</u> , 田辺圭子	愛知母性衛生学会誌	2019年3月	36		12-18	母性看護学 I
保育所における保育所看護師等の保健活動に対する自信とその影響要因について	<u>山本弘江</u> , 西垣佳織, 宮崎博子, 藤城富美子, 多屋馨子, 上別府圭子	小児保健研究	2016年1月	75	1	63-68	
看護師等の配置に関する保育所長のニーズ-保育所 の人的配置としての看護師等の配置-	<u>山本弘江</u> , 西垣佳織, 宮崎博子, 藤城富美子, 多屋馨子, 上別府圭子	小児保健研究	2016年3月	75	2	236-241	
妻が産後うつ病を発症した時の夫の体験	<u>山本弘江</u>	日本周産期メンタルヘルス 研究会会誌	2014年4月	1	1	40-41	家族看護学
産後うつ病の予防的介入に関わる文献検討 -助産師が児童虐待予防に関わるために-	長友あゆみ, <u>山本弘江</u> , 田辺圭子	愛知母性衛生学会誌	2013年6月	30		43-56	母性看護学 1・II

#### ◆競争的資金による主な研究

研究テーマ	実施年月(期間)	外部資金名	授業内容に反映している科目名
ボンディング障害の解明-児童虐待の予防に向けた妊娠期からの追跡研究	2023年～2026年3月	文部科学省科学研究費 基盤C	母性看護学 I・II 家族看護学
子育て期の家族のメンタルヘルスに着目した支援とソーシャルキャピタルのあり方の検討 研究代表者	2020年～2025年3月	文部科学省科学研究費 基盤C	母性看護学 I・II 家族看護学
医療的ケア児の親が「子どもとわかり合う感覚」を実感する過程の解明とその共有の効果 研究分担者	2018年～2022年3月	文部科学省科学研究費 基盤B	家族看護学
乳児を持つ夫婦の産後うつの実態と家族を支える地域連携モデルの開発 研究代表者	2016年～2019年3月	文部科学省科学研究費 基盤C	母性看護学 I・II 家族看護学
夫婦に対する産後うつ病予防に向けた早期看護介入プログラムの開発と効果の検討 研究分担者	2015年～2018年3月	文部科学省科学研究費 基盤C	母性看護学 I・II 家族看護学
親の育児ストレス調査から20年目の実態把握と「親であること」を支える指針作り 研究分担者	2014年～2017年3月	文部科学省科学研究費 挑戦的 萌芽研究	家族看護学
産後うつ病を発症した母親の家族の体験と子育て支援モデルの構築 研究代表者	2014年～2016年3月	文部科学省科学研究費 基盤C	母性看護学 I・II 家族看護学

産後うつ病を発症した母親の家族の体験と子育て支援モデルの構築 研究代表者	2013年～2014年3月	(財)メンタルヘルス岡本記念財 団研究活動助成金	母性看護学Ⅰ・Ⅱ 家族看護学
---	---------------	-----------------------------	-------------------